

令和4年6月21日

名古屋ブライダルビューティー専門学校
校長 塚本 紀之 殿

名古屋ブライダルビューティー専門学校 学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会
委員長 吹原 みき

令和4年度学校関係者評価について、下記の通り評価結果を報告します。

記

1. 日 時 令和4年6月16日（木）13時30分～15時00分

2. 場 所 名古屋ブライダルビューティー専門学校 502教室

3. 出席者 [委員5名]

吹原みき（教育知見者：愛知ウェディング協議会副代表理事）

遠山奈七（業界：(株)PLAN・DO・SEE）

伊藤亜紀子（業界：(株)うたげ代表取締役社長）

小出由美子（保護者）

田崎優花（卒業生：(株)貸衣裳のマルイチ）

[教職員3名（オブザーバー）]

校長 塚本紀之

教務 内村ちひろ

事務 梅村浩司

4. 実施方法：

令和3年度自己評価報告書を基に、各項目の説明と課題を聞き、質疑して評価を行った。さらに、評価委員会の後半は業界の「アフターコロナの取り組み」についても時間が許す限り、意見を伺った。詳しくは議事録を参照のこと。各項目の評価は次の通りである。

学校関係者評価委員による評価

評価項目	評価	評価項目	評価
(1) 教育理念・目標	4	(6) 教育環境	3
(2) 学校運営	4	(7) 学生の受入れ募集	4
(3) 教育活動	4	(8) 財務	3
(4) 学修成果	3	(9) 法令等の遵守	4
(5) 学生支援	4	(10) 社会貢献・地域貢献	3

- ・適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

各評価項目について

1 教育理念・目標

- ・教育理念・目標は教室に掲げられている。少人数制で丁寧な教育をしていることを理解した。今後、カリキュラム変更などにより職業実践教育の質向上が高まることを期待している。

2 学校運営

- ・資格取得での実績向上、就職100%など教育はしっかり行われている。
- ・業務の効率化が常に検討されている。
- ・情報化については継続的な進展が必要であり、学校の努力は感じられた。

3 教育活動

- ・先生たちの学生指導は丁寧であり、成果が出ていると思う。
- ・コロナと日常業務の多忙さのため、教員研修が後回しになったと説明を受けた。業界も変化し、学生の質も変化する時代などで教員研修が可能になることを願っている。

4 学修成果

- ・就職率や資格取得率では成果があったと報告を受けた。一方で1年生の退学者が増えたとのこと。ブライダル専は丁寧な指導で退学者の少ない学校との印象があったので、今後の成果を期待している。

5 学生支援

- ・先生たちの手厚い指導に感心した。さらなる改善の方向も聞いたので今後の成果も期待したい。卒業生への支援体制もあり、卒業後も相談しやすい雰囲気学校にあると感じた。

6 教育環境

- ・限られた施設の中で産学連携を打ち出すことはよい発想だと思う。産業界の利用可能な部分をさらに探すとよい。私たちも応援したい。

7 学生の受入れ募集

- ・SNS広報、重点高校とのパイプ作り、重要サロンへの就職実績作りなどを今後も続けるべきだと思う。
- ・金山は好立地だと思うので、やれることは何でも試みると良い。

8 財務

- ・単体では赤字と聞いたが、やるべきことはやっているため評価は3とした。

9 法令等の遵守

- ・特に問題ないと判断した。

10 社会貢献・地域貢献

- ・コロナでここ2年間は制限の多い活動だったと聞いた。本物挙式、学生サロンなど本物に近い活動を通じて技術、職業観、責任感、実際の業界動向などを身に付けることは良い職業教育の方法だと思った。

以上